

IM第8組 第1回合同例会 報告

IM第8組 ガバナー補佐 **川上善司**
(大阪平野RC)

IM第8組 第1回合同例会を、5月14日(木)18:00より、IM第8組の各クラブがホテルニューオオタニで一堂に会して開催致しました。

当週の、例会変更をして9クラブ243名が参加、各クラブの出席率平均が80%になり、当日のプログラムも大盛況の中で、合同例会が出来ましたことに皆様の熱い思いを感じ、心より感謝申し上げます。

今年度はIM第8組より、泉ガバナーを輩出しております、私達に取りましても喜ばしい年度であります。泉ガバナーにはご講演をお願い致しました。

又、地区からの役員の方々や、当日、例会見学に入会希望者の方も参加して頂いております。席上で拝見しておりますと、各クラブへは何度も訪問しており、お顔なじみの方々ばかりで、自クラブでの例会のようなホットな気持ちでした。

私達のIM第8組には、八輪会という会長、幹事会があります。私、2004-2005年度、ガバナー補佐を拝命した折、当8組にはIMの前に一度会長、幹事会があるのみでした。今後の活動のことを鑑み、当時の新旧会長、幹事の方々にお集まり頂き意見交換を致しました。その結果、共に研鑽しながら、ロータリー活動をしていくには、8組の各クラブが親睦を深め協力し、有意義な活動をして行こうと言う事になり、8組が輪になる会「八輪会」と全員一致で命名致しました。

早速発足致しましたその年度、大阪湾の埋立地、府民の森に八輪会として初めて各クラブが協力して参加し、松の苗木750本を植樹しております。八輪会は、年間に4回開催し、クラブの活動報告や、奉仕活動の在り方等の課題や、地区からの情報や、報告事項などを共有し各クラブに持ち帰って頂いております。

なぜ、八輪会のお話をしているのかと申しますと、今回の合同例会は八輪会からの、ボトムアップだからであります。昨年9月第1回八輪会を開催しました。会長、幹事の方々の意見交換で「今年度八輪会を通じて知りあつた仲間として、一致協力して何か形ある活動の実施を」との話になりました。大和川クリーン作戦や、地域の奉仕活動など、活発なご提案もありましたがどれも、日程的な制約があり8

組が協力して「合同例会をやろうと」全員一致で決定し、準備委員会を設置して、合同例会への幾つかの課題を、クリアしこの日を迎えました。

ロータリーは、同じ場所で、同じ曜日、同じ時間、同じメンバーで開催しておりますが、今回各クラブの皆様と一堂に会して、楽しい例会の時間になればと各テーブルには、テーブルマスターの方々がおられ一層の親睦を図って、有意義な実り多い合同例会になればと願い、企画をした次第です。

今回の合同例会は今年度だけではなく、次年度ガバナー補佐エレクト、次々年度カバナー補佐ノミニーも、継続することを約束して頂いております。今年以後の八輪会恒例の行事のために、今回が魁になればと考えております。

20世紀の初頭、1905年シカゴで産声を上げてよりロータリーも今年で110年になります。ポールハリスの著書の中に「私達は変化する世界と共に変わっていく心がけが必要である。ロータリー物語は書き直して行かなければならない」との言葉を残しておられます。以来、多くの先人のロータリアンの方々が、時代の変遷と共に、対応され現在に至っております。

今回のようなIM単位での合同例会は、国際ロータリー第2660地区では初めてであります。日本ロータリーに問い合わせたところ、今回のような合同例会は存じないとお話でした。もしや、日本で初めてと言う事は、もしかして世界で初めての合同例会かも知れません。IM第8組9クラブの皆様と共に、110年のロータリー物語の中に新しい1ページを書き加えたことになるかも・・・

この歴史の一コマをご出席されたロータリアンの方々と共に、享受出来ましたことに心より感謝したいと存じます。

